

平成 24 年度食の安全・消費者の信頼確保対策事業 飼料中の有害物質等の含有量実態調査事業に係る飼料原料中の放射性セシウム (Cs) 134 及び 137 の分析結果について

社団法人 日本科学飼料協会では、平成 23 年度に引き続き、農林水産省の補助を受け、国内で生産されている飼料原料等を収集して放射性 Cs 濃度を測定し、その情報を関係者で共有することを目的とした平成 24 年度食の安全・消費者の信頼確保対策事業 飼料中の有害物質等の含有量実態調査事業を実施しました。

このたび、飼料製造業者等から平成 24 年 9 月～平成 25 年 3 月の間にご提供いただきました飼料原料 1,414 点についての分析結果を取りまとめましたので、ご報告します。なお、分析は、昨年度と同様に、ゲルマニウム半導体検出器（定量下限：Cs 134、137 とも 10 Bq/kg）で実施しました。

分析結果は以下に示したとおりです。

分析を実施した 1,414 点中、放射性セシウムが検出されたのは 39 点（2.8 %）のみでありました。また、検出された値も Cs134 と Cs137 の合計で最高 50 Bq/kg であって、その他はほとんど定量下限付近の値でした。

なお、本データを転用する場合には、「本データは、(社) 日本科学飼料協会が農林水産省からの補助を受けて実施した平成 24 年度食の安全・消費者の信頼確保対策事業 飼料中の有害物質等の含有量実態調査事業の分析結果を転用したものです」旨の脚注を付して頂きますよう、お願いします。

平成 25 年 3 月 29 日

社団法人 日本科学飼料協会

飼料原料中の放射性セシウム分析結果（平成24年9月～平成25年3月）

穀類（分析実施点数 398 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
米	12	0
小麦	1	0
小麦粉（末粉を含む）	362	11 30 Bq/kg ; 5 点 20 Bq/kg ; 5 点 (Cs137 のみ) 10 Bq/kg ; 1 点 (Cs137 のみ)
パン粉	7	0
きな粉	1	0
大豆	3	0
小麦デンプン	1	0

そうこう類（分析実施点数 705 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
米ぬか（生米ぬか、脱脂米ぬ か及び無洗米ぬかを含む）	215	23 50 Bq/kg ; 2 点 40 Bq/kg ; 1 点 30 Bq/kg ; 4 点 20 Bq/kg ; 1 点 20 Bq/kg ; 4 点 (Cs137 のみ) 10 Bq/kg ; 11 点 (Cs137 のみ)
ふすま（麦ぬかを含む）	450	5 30 Bq/kg ; 1 点 20 Bq/kg ; 1 点 (Cs137 のみ) 10 Bq/kg ; 3 点 (Cs137 のみ)
醤油かす	8	0
コーングルテンフィード	4	0

植物性油かす類（分析実施点数 20 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
大豆粕	11	0
菜種粕	4	0
コーングルテンミール	5	0

動物質性飼料（分析実施点数 192 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
魚粉及び魚粉原料	113	0
フィッシュソリュブル	7	0
脱脂粉乳	2	0
全脂粉乳	1	0
卵粉末	2	0
ポークミール	7	0
ポークチキンミール	4	0
チキンミール	35	0
ミートミール	10	0
フェザーミール	6	0
その他動物質性飼料原料	5	0

その他の飼料原料（分析実施点数 99 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
卵殻粉末	1	0
炭酸カルシウム	6	0
リン酸カルシウム	1	0
アルギン酸ナトリウム	1	0
魚油	10	0
動物性油脂	36	0
植物性油脂	1	0
菓子粉	10	0
おから	1	0
茶粉末	1	0
ビール酵母	6	0
上白糖	1	0
米胚芽	1	0
小麦胚芽	2	0
小麦グルテン	1	0
多糖類	1	0
糖蜜	2	0
生菌剤	1	0
食品副産物及びその原料	8	0
その他植物性原料	5	0
ペレット加工用水	3	0

- 個別の分析結果については、[こちら](#)をご参照ください。